

会議等名	平成 28 年度 第 2 回海老名市子ども・子育て会議
日 時	平成 28 年 7 月 28 日 (木) 10 : 00 ~ 11 : 30
場 所	海老名市役所 3 階 政策審議室
出席者	<p>委 員：鍛冶 邦彦 委員長、鍵渡 香代子 委員、木村 伸之 委員、増田 芳夫 委員、亀澤 ますみ 委員、渡部 理子 委員、村田 愛 委員、鷺野 昭久 委員 (副委員長)</p> <p>(欠席委員：7 名)</p> <p>事務局：保健福祉部次長 (福祉担当) 兼福祉事務所長 渋谷 明美、参事兼保育・幼稚園担当課長 萩原 小百合、子育て支援課長 告原 幸治、子育て支援係長 奥田 ともみ、子育て支援係主査 尾内 速斗、子育て支援係主任主事 千田 裕美子、保育・幼稚園係長 安齊 浩史、保育・幼稚園係主事 片山 考人、学び支援課長 小林 誠</p> <p>傍聴者：なし</p>
<p>1 開 会</p> <p>2 委嘱状交付 (鷺野委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 海老名市小中学校長連絡協議会の改選に伴い、「新倉 実和子委員」に変わり「鷺野 昭久委員」が任命された。また、その後の協議により副委員長に選出された。 <p>3 議 題 (報告事項)</p> <p>(1) 「(仮) 子育て親子応援宣言」の策定状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 宣言策定に先立ち実施した子どもアンケートの結果報告、宣言名の検討と名称案として「HUG HUG えびな宣言 こども子育てサポート指針」の提示、宣言素案とアピール事業の検討、宣言の PR 方法について、別紙資料に基づき事務局から説明を行った。 <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> 宣言名称「HUG HUG えびな宣言 こども子育てサポート指針」のコピーは決定事項と考えてよろしいか。(委員) →宣言名称は市として決定させてもらった。 また、宣言素案の 3 本柱として示した部分については、前回会議にて審議した 	

ものを反映し掲載しているほか、前回からの進捗としては、宣言する際のアピール事業として各事業を整備したうえで、資料9ページ以降にお示ししたとおりである。(事務局)

- ・ 宣言名にある「こども子育てサポート指針」について、子育てならば子どもを対象にしていることは当たり前なのにわざわざ頭に「こども」がつくのはなぜか。(委員)

→宣言名を「子育てサポート指針」とだけにすると、子育てをしている親のみを応援していると捉えられてしまうと考えた。子育て中の親はもちろんであるが、子育てを受ける子どもも主役と考え、子どもにもスポットを当てるべく「こども子育てサポート指針」とした。(事務局)

- ・ そうかなとも思ったが、ちぐはぐな感じもする。先ほどの説明がなくてもわかるキャッチでもいいかとも思うので検討してもらいたい。(委員)
- ・ 「・」＝中黒を入れるとか、「&」＝アンドを入れるとかすればいいのでは。(委員長)

- ・ 9ページの「子育て情報サイトの開設」とあるが、これは親がターゲットなのか。子どもが見ることは想定していないのか？ また、14ページ「宣言その他PR方法」だが、このご時世SNSを利用しないのは情報面で弱いのではないか。例えば、海老名市から切り離して「HUG HUG」としてfacebookやtwitterで発信すればいいのでは。「いいね」フォロー数で利用者を把握することもできる。(委員)

→「子育て情報サイトの開設」はあくまでも子育て中の親をターゲットにしている。現在考えているのは、パソコン上でもスマートフォン上でも閲覧できるウェブサイトで、なおかつアプリも連動できる形式を検討している。アプリは郵便番号を入力し登録することで海老名市版の子育て情報を得ることができる仕組みである。

また、SNSの利用についてのご意見はいいアイデアだと思う。現在、シティプロモーション課でも市のfacebookを運営していることから、そちらとの兼ね合いを考慮した上で検討したい。(事務局)

- ・ web制作者の立場からいうと、SNSとウェブサイトに分けた方がいいし、パソコンよりはスマートフォンの方が利用者数も多く重視した方がいいこと、またコンテンツは生き物と捉え、最新情報の更新をこまめにするほうが多くの人に読まれると実感している。(委員)

- ・ 9ページの「ファミリーサポートセンター利用料負担軽減」は、育児を受け

たい人（利用会員）には良いかもしれないが、援助する側（援助会員）の負担が増え、結果、援助会員数が減少するのではないか？（委員）

- ・ファミリーサポートセンター事業の概要も含めてご説明願います。（委員長）
→ファミリーサポートセンター事業は、育児を受けたい人（利用会員）と援助したい人（援助会員）を取り持つ事業である。現在の利用料金は1時間あたり700円（平日6時半～21時まで）となっており、支払い方法は利用会員が援助会員へ直接料金を支払う方法となっている。

近年、活動件数も援助会員数も伸び悩んでいる状況があり、その打開策を一つの案として検討している。内容としては、現在700円の利用料を1,000円とし、活動実施後に利用会員へ500円をバックするもので、利用会員にとっては、支払い時は300円の増額となるものの、後日500円がバックされるため実質200円の負担軽減となり、援助会員についても300円の増額となることから、利用会員、援助会員双方にメリットとなると考えている。（事務局）

- ・500円をバックする具体的な方法は？（委員）
→補助金制度を想定しており、利用者から申請してもらい、市が審査・決定した上で支払いとなる。申請時は来庁していただく必要があるが、支払いは口座払いとする。（事務局）

- ・最初から利用会員の料金を500円とし、援助会員に後日補助する方が簡単ではないのか。（委員）

→基本的には利用者補助という考え方で検討している。本来、利用料金は1時間1,000円程度支払うべきサービス内容であることを利用会員に認識してもらおうという意味も含めて、最初から500円にすべきではないと市では判断している。援助会員と利用会員は対等の立場であるべきであり、お子さんを預かってもらうという信頼関係を持ってもらうためにも1,000円を支払うことでその意識づけにつながると考えている。

補助制度となると申請時には来庁していただくことにはなるが、毎回・毎月来庁いただくのではなく、例えば3か月や四半期ごとといった一定期間内でまとめて申請することもできるよう柔軟な制度にしたいと考えている。（事務局）

- ・そういう説明ならば、援助会員の大変さも認識しているので理解できた。来庁いただくことも含めて柔らかい言葉、丁寧な説明をしてもらえたら利用会員からの理解も得られるのではないか。（委員）

- ・利用しやすさ等については、事業を進めてから再検証する理解でいいか。（委員長）

→はい。利用ニーズは多いことから、援助会員が増えれば利用件数も増える

と考えている。現在、利用会員が 800 人規模に対して援助会員が 100 人規模。これではバランスが取れていない。

現在の利用料金の算定については、ボランティアの要素も強い事業であることから、当時の最低賃金を少し下回るように設定されていた。しかし、その後、最低賃金は上昇していったものの利用料金は据え置かれたままである。また、利用料金には交通費も含まれていることから、ここで適正な見直しを図りたい。援助会員を増やすことで、結果として利用会員が使いたい時に使える制度にしていきたいと考えている。(事務局)

(2) 下今泉保育園の建て替えについて

- ・ 建築から 43 年が経過し老朽化が著しい状況にあること、また、海老名駅西口周辺及び駅間地区の開発などにより、今後人口増が見込まれ保育需要の増加が想定されることから、園舎の建て替えと併せ 30 名の定員増を図る。この計画について別紙資料に基づき事務局から説明を行った。

【質疑応答】

- ・ 現在の園舎は平屋建てなのか。(委員長)
→はい。(事務局)
- ・ 計画では床面積は増えているのに航空写真を見ると形が小さくなっていた。現在は 2 階建ての園舎は主流なのか。理想の園舎は広い敷地に平屋建てだと思うが。(委員長)
→土地面積の制約がある中で一定程度の園庭を確保するとすると、市街地においてはどうしてもこのような建物が多くなる。(事務局)
- ・ 直営方式から指定管理者制度に移行するということだが、その募集・選定等の目処はたっているのか。話せる範囲で回答願います。(委員長)
→指定管理者の導入にあたっては、条例及び規則改正が必要になってくることを踏まえて 9 月議会において提案させていただき、議決後募集を行い、選定については審査を 2 回実施した上で、議会で承認をいただきたいと考えている。その後、指定管理者が決定したところで基本協定を締結していく予定である。
また、工事の関係では今回、設計施工一括方式としてプロポーザル方式での業者選定を予定しているが、こちらについては、9 月議会において 補正予算を計上した上で決定したい。事前の業者募集については指定管理者の選定同様しかるべきプロセスで 12 月までには決定していきたいと考えている。(事務局)

(3) その他（自由意見）

- ・今社会現象となっている「ポケモンGO」について、直接子育て支援とは関係していないかもしれないが、今後歩きスマホや脇見運転による交通事故等の増加が懸念されており、すでに対策チームみたいなものを立ち上げている県もあると聞いたが海老名では現状どうなっているか。（委員）
- ・昨日学校メールから保護者宛に以下の内容で注意喚起メールが配信されたばかりである。

○危険な場所に立ち入らないこと。

○歩きスマホに十分注意する。

○ゲームしながら個人情報特定されないよう気をつける。

教育委員会では現在このような状況である。（委員）

→教育委員会ではそのような対応をしたばかりであるが、まずは買い与えている親御さんの管理の元、自己責任でやってもらうのが第一だと考える。当面はこのメールで様子を伺いたいと思う。（事務局）

4 閉 会

- ・ 次回会議の開催予定としては、年内中にもう一度お集まりいただき、下今泉保育園以外でも民間保育園の設置も予定していることから、保育所の定員の関係でご審議いただきたいと考えている。（事務局）

以 上